

令和4年度（2022年度）

事業計画

社会福祉法人豊中市社会福祉協議会

令和4年度（2022年度）社会福祉法人豊中市社会福祉協議会

事業計画

【基本方針】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、社会福祉協議会が推進してきた地域福祉活動は多大な影響を受けることとなりました。対面型の活動やあまねく住民を対象とした事業の実施が困難となり、高齢者等のフレイル予防が課題となっています。

感染対策としてオンライン化が急速に進む反面、地域で孤立・孤独化が進行する事態を招いています。また、2年にわたる特例貸付の申請は豊中市において5千世帯を超え、今後複数の生活課題を抱える世帯についての継続的な支援が求められます。

豊中市社会福祉協議会（市社協）では、これらの課題に対し、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が培ってきた、地域に根差した寄り添い型の支援を展開し、支える側、支えられる側という概念を超えた、新たなつながりづくりの仕組みを構築してまいります。また、オンラインやICT化をより進める一方で、その対応が困難な方々に対するハード・ソフト両面の支援を展開してまいります。

昨年、市社協は設立70周年を迎えました。今後も行政ならびに関係機関との連携を強化し、地域共生社会の実現に向け、住民主体の地域福祉活動を推進してまいります。

【重点活動目標】

1. 校区福祉委員会活動の充実

①小地域福祉ネットワーク活動について

孤立孤独対策として、個別援助活動、グループ援助活動を通じ積極的な安否確認に努めます。買物支援として、キッチンカーや移動販売車の導入を推進してまいります。

②福祉なんでも相談窓口設置事業の推進

地域福祉活動の拠点として住民に身近な相談支援を行うとともに、オンラインを活用して、研修の実施や情報の伝達、共有を円滑に行ってまいります。

③「敬老のつどい」の開催

安全安心に開催するために、オンラインの活用や対象範囲等も含めた検討を行ってまいります。

④住民主体ささえあい活動の推進

引き続き全校区での実施を目指し、高齢者の社会参加と介護予防に寄与してまいります。

2. ボランティアの育成・活動の充実

- ・オンラインによる小中学校への体験学習の機会を増やし、若年層へのボランティア活動の普及啓発を促進します。
- ・ボランティアセンターにて定期的なフードドライブを実施し、フードロスの取り組みと新たな活動の場づくりを目指します。
- ・フレイル予防と社会参加を目的としたとよなか地域ささえ愛ポイント事業の活性化を図ります。
- ・団体連絡会設立 30 周年、ボランティアセンター設立 35 周年

3. 課題解決力の強化・包括的な支援体制の構築

- ・新型コロナウイルス感染症特例貸付を通じて表面化した、新たな生活困窮の課題に対応してまいります。
- ・外国人支援について、言語コミュニケーション上の問題だけでなく、ライフスタイルや情報ツール、所属するコミュニティとの関わりをふまえ、国際交流センター等と連携して対応してまいります。
- ・学校に行くこと、行かせることが困難な世帯に対し、学習支援や家事支援を通じて関係づくりに努め、自立に向けた取り組みを行ってまいります。
- ・地理的に、また身体的に外出困難な方々への移動支援や移動販売車、キッチンカーを活用した買物支援について、地域のニーズをふまえ、民間事業者等との連携をより一層推進してまいります。

4. 権利擁護に関する取り組みの充実

- ・豊中市の成年後見制度利用促進に係る中核機関として権利擁護・後見サポートセンターを設置し、オンラインを活用した講習会や広報活動を積極的に展開し、市民への制度の普及啓発に引き続き努めます。
- ・日常生活自立支援事業の待機解消の新たな取り組みとして、サービス提供に係る支援員体制についての見直しについて、検討してまいります。
- ・昨今一人暮らし高齢者等からの問い合わせの多い死後事務委任について、先進の取り組みにつき調査研究してまいります。

5. 当事者組織の育成・支援ならびに各種団体との連携強化

- ・コロナの影響により、その担い手についても心身面のダメージを受けたことがアンケート等で明らかになる中、それぞれの組織や団体の維持継続のため、様々な機会を通じたモチベーションアップが図れる様、連携を強化してまいります。
- ・今年民生委員児童委員は一斉改選を迎えられますが、市社協として委員の活動しやすい環境づくりに寄与してまいります。
- ・豊中市社会福祉施設連絡会設立 10 周年

6. 中央地域包括支援センターの運営

運営業務受託法人として、令和4年度より6年間、引き続き豊中市の中部圏域を担当させていただきます。

外出自粛による筋力低下や孤立が進み、これまで以上に深刻化した相談が寄せられていますが、こうした状況にあっても、地域ケア会議の開催やケアマネジメント支援、通いの場づくりの拡充・認知症高齢者支援の拡充・地域教室等を滞ることなく実施し、関係機関と連携を図りながら高齢者の暮らしを支えてまいります。

また、今年度より豊中市全域において短期集中サービスを活用した自立支援型ケアマネジメントを促進する新たな介護予防の取組みが実施されます。行政を含む関係機関と連携し、この取組みが円滑に進むよう注力してまいります。

7. 在宅福祉サービスの実施

職員の専門性を高めていくとともに、地域住民や各種関係団体・市社協が行う事業との連携を深め、地域包括ケアの理念のもと、利用者一人ひとりに寄り添った支援に努めます。

コロナ禍において、円滑な事業運営が阻害される事態も想定されますが、引き続き感染予防対策を徹底したサービス提供を行うとともに、職員が安心して業務に取り組める環境整備を行います。加えて、こうした感染症や災害発生時においても、サービスが継続して提供できる体制を構築するため、「業務継続計画（BCP）」の策定に取り組んでまいります。

介護人材の確保は喫緊の課題ですが、これまで以上に求職者へのアピールを強化し、職員定着のための指導體制や研修体制を充実させるとともに、処遇改善に向けた取組みを検討してまいります。

事業収益を活用した社会貢献活動につきましては、地域課題を見極めつつ、その取組みを積極的に進めてまいります。

8. 広報・啓発活動の充実

- ・ICT化がますます進展する中で、その対応が困難な方々に対してもつながることができる仕組みづくりについて、検討してまいります。
- ・広報紙「みんなの福祉」については、紙面で伝えるべき情報の整理をホームページやSNSとの関係性において適切に行った上、発行回数や時期等を定めてまいります。

9. 組織体制ならびに財政基盤の強化

- ・次年度に事務所移転を控えており、事務処理体制のスリム化を図ります。
- ・持続可能な事業運営に資する賃金給与体系の見直しを行います。
- ・第3期経営発展強化計画の進捗管理を適切に実施いたします。

- ・事業推進にあたり、各種助成金の申請を積極的に行うとともに、賛助会費、共同募金等の自主財源の確保に努めます。
- ・職員の専門性を高め、人材育成の取り組みをより強化することで、市民サービスの向上に努めます。

【主要事業】

1. 校区福祉委員会活動の充実

- ・小地域ネットワーク活動推進事業（個別援助活動・グループ援助活動）
- ・小地域活性化モデル事業
- ・福祉なんでも相談窓口設置事業（市受託）
- ・敬老の集い（市補助）
- ・防災・福祉ささえあいづくり推進事業（市受託）
- ・住民主体ささえづくり事業(市補助)

2. ボランティアの育成・活動の充実

- ・ボランティアセンター「ぷらっと」の運営
- ・ボランティアの登録・派遣
- ・ボランティアスクール等各種講座の開催
- ・ボランティア団体連絡会等の支援
- ・災害支援ボランティアの推進
- ・企業団体のボランティア推進
- ・ファミリーサポートセンター事業（市受託）
- ・とよなか地域ささえ愛ポイント事業（市受託）
- ・介護サービス相談員派遣事業（市受託）

3. 課題解決力の強化・包括的な支援体制の構築

- ・福祉なんでも相談のバックアップ
- ・地域福祉ネットワーク会議の運営
- ・各種プロジェクトの推進
- ・地域福祉活動支援センターの運営
- ・協議体の運営と事業所のネットワーク化
- ・住民主体ささえあい活動の支援
- ・びーのびーの(引きこもりなどの社会的居場所)
- ・フードドライブ・リユース事業
- ・こども食堂ネットワーク
- ・生活支援コーディネーター業務（市受託）
- ・生活困窮者自立支援事業「くらし再建パーソナルサポートセンター」(市受託)
- ・生活福祉資金貸付事業（府社協受託）

- ・健康づくりグループ支援事業（市受託）
- ・アウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化事業（市受託）
- ・多機関協働による包括的支援体制構築事業「福祉総合支援事業」（市受託）
- ・東豊中老人憩の家等管理運営業務（市受託）
- ・庄本複合施設老人憩の家管理運営業務（市受託）
- ・安心生活創造事業「社会参加支援事業」「抜け漏れのない実態把握事業」（市受託）

4. 権利擁護に関する取り組みの充実

- ・成年後見サポートセンター事業（市受託）
- ・市民後見人養成事業（市受託）
- ・日常生活自立支援事業（府社協受託）

5. 当事者組織の育成・支援ならびに各種団体との連携強化

- ・豊中市老人介護者（家族）の会
- ・ひとり暮らし老人の会及び同連絡会
- ・福祉の店「なかま」運営委員会
- ・若年性認知症本人と家族の集い「ももの会」
- ・豊中市発達障害者の家族の会「一歩の会」子育てグループ「にじいろ」
- ・豊中脳損傷家族会「アンダンテ」
- ・豊中市民生・児童委員協議会及び同連合会
- ・豊中市赤十字奉仕団
- ・豊中市献血推進協議会
- ・豊中地区募金会
- ・豊中市社会福祉施設連絡会
- ・豊中市老人クラブ連合会
- ・家族介護者交流事業（市受託）

6. 中央地域包括支援センターの運営

- ・認知症地域支援・ケア向上事業（市受託）
- ・介護等に関する総合相談の実施
- ・介護予防支援事業
- ・高齢者権利擁護事業
- ・地域教室の開催
- ・地域支援活動（介護予防おでかけマップの作製）
- ・ケアマネジャー支援、中央ほっとの開催
- ・サブセンター（熊野田分室）の運営
- ・通いの場づくり

- ・自立支援型「地域ケア個別会議」の開催
- ・司法書士による「高齢者お悩み相談会」の実施
- ・多職種による「見える事例検討会」の開催
- ・若年性認知症支援事業

7. 在宅福祉サービスの実施

- ・介護サービスセンターの運営
 - 中豊島：居宅介護支援事業・訪問介護事業・居宅介護事業・同行援護事業・移動支援事業
 - 桜井谷：訪問看護事業
- ・社会貢献活動の実施（ぴちぴちフェスタの開催、ふれあい出前講座、ケアマネジャー実習・福祉体験の受入れ、事業収益を活用した人材育成活動等）

8. 広報・啓発活動の充実

- ・広報紙「みんなの福祉」発行
- ・市社協ホームページ、フェイスブックの運用
- ・まちかどボランティアボード
- ・各種リーフレットの発行
- ・公式YouTubeチャンネルの配信

9. 組織体制・財政基盤の強化

- ・理事会、評議員会
- ・総務部会等各部会、委員会
- ・賛助会費会員制
- ・組織構成会員
- ・自主財源の確保、寄付システムの運用
- ・人材育成計画の推進
- ・基金の運用
- ・第4期地域福祉活動計画の推進
- ・第3期経営発展強化計画の推進